



Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



Weekly report

国際ロータリー会長

イアン H.S.ライズリー

長井ロータリークラブ会長

渡辺 清隆

第2800地区ガバナー

鈴木 一作

長井ロータリークラブ幹事

大道寺 信

第6ブロックガバナー補佐

小林 正芳

パストガバナー

渡部 保太郎

例会日 毎週火曜日 12:15~13:15

例会場 タスパークホテル TEL0238-88-1833

事務局 長井商工会議所内 TEL0238-83-2047

会報委員 土屋 茂樹・浅野 敏明・栗田 正彦・齋藤 圭央

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: info@nagai-rc.jp

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成29年8月22日(火曜日) 第2,717回

【月間テーマ】 会員増強及び拡大

<例会報告 NO.5> ゲスト卓話

山形大学国際事業化 研究センター長 小野寺 忠司 氏

★会長挨拶(渡辺清隆会長)



お盆はゆっくり過ごせましたでしょうか?

長井で花火を見ることが出来ないので8月2日にツアーで長岡に行って来ました。バスだけで100台ほど入るところに駐車をして、トイレに行くと言うことで2時間、ビール・つまみ・お土産などを買っていったんバスへ。その後、会場へ行くのですが、私達の団体用の席までは30分歩きます。土手の上を歩くのですが、すぐ脇に大きな長岡赤十字病院がありまして、たまたまだと思いましたがドクターヘリが2回往復しました。その都度、土手の上をすれすれに飛んでくるので通行止めになり、席に向かう行列は20分ほどストップしました。

土手の上、斜面、裾野にはいっぱいの人です。団体会場の場所に近づくとすごい大勢の人の数にびっくりしました。どこからこれだけの人がと思いい見渡すと、川の向こう側にも、びっちらりの人が見えました。

信濃川は日本一長い川です。上高地の河童橋の下を流れる清流は、梓川。そして、犀川。長野県を千曲川として流れ新潟に入り信濃川となり日本海へと流れます。

私達の最上川はひとつの県だけを流れる一級河川としては最長でとても珍しい川なのです。

ようやく団体のシート席についてトイレに向かうと、これがまたすごい行列で、男用6つ、女性用が10ぐらいあるのですが、二列の長い行列になっていました。

七時二十分頃から始まるのですが、市長の挨拶があり、長岡で空襲があったことなどのお話の後、ようやく花火の始まりです。ドガンと大きな音と夜空一杯に輝く花火がとても素晴らしく感動しました。花火は二時間くらい続きました。

帰りもトトロと歩いてバスに戻りました。バスに乗ってからも100台位の大型バスが1つの出口に向かうのですから大変です。チョコチョコとしか進まずだいぶかかりました。

次の日、長岡に電話をして、昨日は何人くらいの観客だったのかを聞いてびっくりしました。何人だと思いませんか。

520,000人とのことでした。(一日目です)

皆さんも8月26日の大曲の花火大会へ行ってみてはいかがでしょうか。ちなみに去年の大曲の観客は70万人だったそうです。

★幹事報告(大道寺幹事)

- ・米沢上杉ロータリークラブ創立55周年記念式典の案内が来ております。
- ・鶴岡東ロータリークラブ創立30周年記念式典の案内が来ております。

・9月5日鈴木一作ガバナー公式訪問における詳細について

- ① 市役所表敬訪問
- ② 例会前協議会①
- ③ 例会前協議会②
- ④ 例会行事①(通常例会、新会員激励式)
- ⑤ 例会行事②(フォーラム形式)
- ⑥ 懇親会

★委員会報告

親睦委員会 大滝 徹 委員長

9月26日(火) 4クラブ合同例会

- ・ 4クラブゴルフコンペ 山形南 CC
- ・ 合同例会、懇親会 タスパークホテル

<ニコニコ BOX>

・塚田 弘一 会員

小野寺先生、山形大学の知の拠点のキーマンとしてのご活躍を期待します。

★ゲスト卓話(小野寺 忠司 氏)



- ・山形大学国際事業化 研究センター長
- ・米沢市出身
- ・2月24日生まれ(スティーブ・ジョブズと同じ)
(米国の実業家、アップル社の創業者)
- ・1978年 長井工業高等学校卒業
(血気盛んな学生が多かったです。)
- ・東北の大学を出て、1982年に米沢製作所に入社するも NEC に買収、交換機の立上げの仕事で全米を回りました。帰ってすぐにパソコンの開発をすることになり、そのうち本社の方で企画、開発命じられ、また、NEC、LENOVO の役員などを経て、今年の3月に企業を辞め山形大学の方に移っております。
- ・35年間トップの商品を出し続けること。世界でナンバー1の物を出すことによって、それに感動を覚えてお客様が喜んで買っただけ。フラグシップを作り上げないとなかなかお客様に伝わっていかない。色々と泥臭いことをやって来た。
- ・山形大学国際事業化研究センターとは、一言でいうと山形に雇用を増やす。ベンチャーを起こして、起業家、新しい事業を起こしていく。大学が保有しているテクノロジーをいろいろな企業さんと一緒にコラボレーションして新しい事業を起こしていく。そうすると雇用が生まれてくるそういったサイクルを作

っていきましょうということがミッションです。6学部の横断組織の事業体になっています。

・深刻な問題です。投資マネーがIT企業に集中。ベンチャー企業の投資先は日本の企業ではなく Amazon、Facebook などのIT サービス系に投資が急増している。それはなぜなのかというとイノベーションのスピードがものすごく速い、加速している。1000万人の人がそれを使うまでの期間がものすごく早い。そういう企業にどんどん投資が進んでいる現象がみられる。

・なぜそういった企業はこんなことができるのか、ビックデータ(クラウド、サーバー)そこにデータが集まる装置があり、それを活用しての上がったということです。

・インフラ、通信系のテクノロジーが全世界で上がっている。想像を絶することが起きてきている。では、どこで起きているのか、SILICON valley(シリコンバレー)です。

・ICT(半導体、通信、デバイス、ソフトウェア)はものすごく進化するだろう。2045年には人工知能が人間を超えるだろうという先生もいるようです。

・過去二年間に生み出されたデータ量は有史以来人類が生み出したデータ量に匹敵する。

・モノづくりからコト(サービス)づくりへ

今まで作っていたものにプラスしていろいろなサービスを付けて事業を展開する。

・IoT とは今まで図れなかったものをすべてのモノを測定する。すべてのものがネットワークにつながる。はかったものをその都度あげてしまうので、処理はその都度きちんとやらなければならない。

・IoT、人工知能、ビックデータの3つは世界を変えられています。もう変えています。それでは我々は何をすればいいのか、これは逆にチャンスなのです。これを使えばチャンスはまだあります。世界に展開・発信をし、日本でやっていないことをやってみることもいいと思います。

・日本はこれからグーグルのようなことをするのはかなり遅いと思います。しかしながらセンサー系のロボットを作るのはピカイチですので勝負できると思います。

・これらの道具をうまく活用する。これを使いこなすにはどうしたらいいのかを考えることが大事だと思います。

・地域の抱えている課題をIoT を使って解決できることはないか取り組んでいくことが大事だと思います。

★次回例会予定

8月29日 会員卓話

五十嵐 順子 会員

★出席報告

8月22日例会 報告者：伊藤委員長

	会員数 (免除)	出席数	出席率	MU数	修正 出席 数	修正 出席 率
本日	26(3)	16	61.53 %			
前回 (8/1)	26(3)	19	73.07 %			
前々回 (7/25)	26(3)	20	76.92 %			